

# インターポート

兵庫教育文化研究所だより

No. 237

2025年3月11日

発行所 兵庫教育文化研究所  
〒650-0004  
神戸市中央区中山手通 4-10-8

## 阪神・淡路大震災 30 年

### 『いのちの危機を生き抜く～防災教育と心のケアの日常化～』

### ぜひ、おもとめください！

1995年1月17日に発生した阪神・淡路大震災から、2025年で30年を迎えました。震災を知らない若手教職員が増えている中、「1.17を風化させず、次世代へ語り継ぐ」ことは、兵庫の教職員の重要な責務です。

今回、震災30年を機に、兵庫県教職員組合および兵庫教育文化研究所が中心となり、被災体験や教訓、子どもへの心のケアの実践をどのように語り継ぐか、また避難してきた子どもたちの「受け入れ教育」や防災リテラシーなど、これからの防災教育のあり方について、現場教職員や研究者の考察、提言、さらに被災当事者の声を集成しました。

ご購入いただける方は、兵庫教育文化研究所までお知らせください。

(TEL:050-3538-2346 E-mail:[hyoukyouso-kenkyusyo@htu.or.jp](mailto:hyoukyouso-kenkyusyo@htu.or.jp))

【編 集】兵庫県教職員組合・兵庫教育文化研究所

【体 裁】A5版 並製 300頁(予定)

【予 価】2,420円(本体2,200円+税)

【刊行予定】2025年6月14日

【目 次】

- 予測困難な時代を乗り越える
- 第1部 「語り」を「継ぐ」
- 第2部 いのちを守る
- 第3部 心に寄り添う
- 第4部 受け入れる
- 提言 ～つなぐ ひろげる 防災文化～
- 資料編
- あとがき



【編 著】泉 雄一郎(元兵庫県教職員組合執行委員長)

大森 直樹(東京学芸大学教授)

桂 正孝(大阪市立大学名誉教授)

諏訪 清二(兵庫県立大学客員教授・防災教育学会会長)

富永 良喜(兵庫県立大学名誉教授・兵庫教育大学名誉教授)

【発行所】株式会社 明石書店(東京都千代田区外神田 695)

【執筆者】裏面をご覧ください。

【執筆者】（掲載順）

森戸 卓也（兵庫県教職員組合中央執行委員長・兵庫教育文化研究所所長）

諏訪 清二（兵庫県立大学客員教授・防災教育学会会長）

中溝 茂雄（神戸親和大学教授）

金 錫 孝（学校法人兵庫朝鮮学園理事長）

菅 正 男（元神戸市立小学校校長）

長谷川元気（神戸市立若宮小学校教諭・語り部 KOBE1995 代表）

米津 勝之（元芦屋市立精道小学校保護者）

高見 里奈（元芦屋市立精道小学校教諭）

高井 千珠（阪神・淡路大震災遺族）

大森 直樹（東京学芸大学教授）

永 田 守（元芦屋市立小学校教諭）

三村 理加（姫路市立荒川小学校主幹教諭（養護））

白 石 草（ジャーナリスト・NPO 法人 OurPlanet-TV 代表理事）

塩津恵理子（元神戸市立保育所保育士）

柴 ひろ（元芦屋市立幼稚園園長）

高光 愛恵（芦屋市立岩園小学校教諭）

服部 征司（神戸市立舞子小学校教諭）

金 戸 竜（南あわじ市立阿万小学校教諭）

山口 清太（佐用町立上月小学校教諭）

中村 英文（宝塚市立安倉小学校教諭）

明井 真宏（加西市立富田小学校教諭）

富永 良喜（兵庫県立大学名誉教授・兵庫教育大学名誉教授）

古川 香世（神戸市立桜の宮中学校分校教諭）

中玉利展子（姫路市立高浜小学校主幹教諭（養護））

投石 悠一（伊丹市立花里小学校教諭）

中 森 慶（兵庫県教育委員会事務局教育企画課指導主事）

紺社 知哉（淡路市立岩屋中学校教諭）

神田 英幸（元兵庫教育文化研究所副所長）

泉 雄一郎（元兵庫県教職員組合執行委員長）

桂 正 孝（大阪市立大学名誉教授）

藤井 司郎（兵庫県教職員組合教育研究専門委員・兵庫教育文化研究所副所長）



【表紙・イラスト】

前 有 香（神戸教育文化研究所事務局長）